教育家庭新聞
2025年（令和７年）
4月21日
月曜日
第２２７０号
卯月・陰月・建巳月
子ども読書の日（4/23）
哲学の日（4/27）
昭和の日（4/29）
第3月曜日発行
教育マルチメディア
教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309−53693
購読申込み ☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社　1部 520円

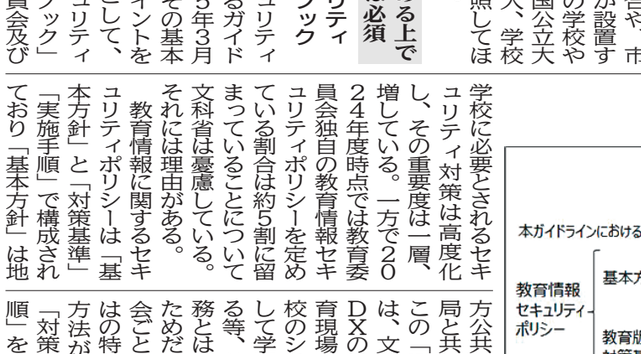
教育情報セキュリティポリシーハンドブック 次世代校務ＤＸガイドブック 作成・公表

文部科学省は2025年3月、「次世代校務DXガイドブック−都道府県域全体で取組を進めるために−」と「教育情報セキュリティポリシーハンドブック」を作成・公表した。前者は各教育委員会が次世代校務DXを進める際に積極的に参考にできるように、後者は自治体自らが教育情報セキュリティポリシーの策定・見直しを適切に実施できるように、わかりやすさに配慮して作成。いずれも教育委員会を主な読み手として想定しているが、校務DXガイドブックについては附属学校を置く国公立大学法人、学校設置会社にも参照してほしいとしている。

校務ＤＸの進め方を事例に紐づけて解説

次世代校務ＤＸガイドブック−都道府県域内全体で取組を進めるために−

次世代校務DXとは、クラウド上での校務実施を前提とし、ロケーションフリーやデータ利活用・データ連携を通じて利便性を図り教育の質の充実に資する新しい校務の在り方のこと。2023年3月に「GIGAスクール構想の下での校務DXについて〜教職員等の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して〜」が取りまとめられ、クラウド上での校務実施を前提とした次世代校務DXの姿が示され、強固なアクセス制御による対策を前提とするセキュリティの考え方が導入された。しかし具体的にどう校務DXに落とし込めばよいのかわからない、次世代の校務デジタル化推進実証事業の報告を見ても具体的な実装がわからない、適切な提案が得られないなどの様々な疑問が届くことから、校務DXに関する近年の自治体の取組を整理。校務DXを進めている各自治体のWGや検討委員会の構成、選択したシステムやツール、仕組みなどについて、校務DX推進の必要事項と紐づけて取りまとめた。本ガイドブックは、「今の環境でできる校務DXの実施」と「環境整備を伴う校務DXの実施」に分けて整理。前者については汎用クラウドツールや生成AIの利活用についても言及。後者については、都道府県域内全体で、主に市町村教育委員会が設置する小中学校（義務教育学校、特別支援学校、中等教育学校前期課程を含む）で次世代校務DX環境を整備・運用することを想定。このほか各教育委員会が単独で進める場合や、市町村教育委員会が設置する小中学校以外の学校や附属学校を置く国公立大学法人、学校法人、学校設置会社にも参照してほしいとしている。



強固なアクセス制御による対策の実装事例の１つとして各教委の事例を掲載。要素技術に用いたツールも示した

校務ＤＸを進める上でポリシー策定は必須

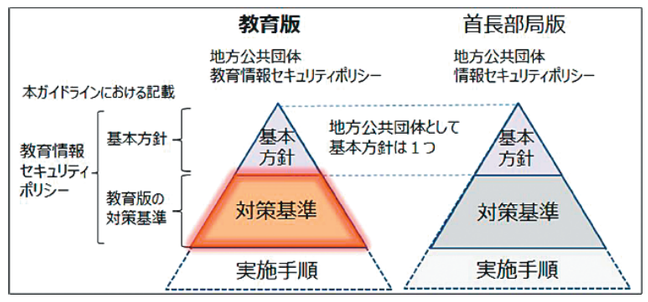
教育情報セキュリティポリシーハンドブック

教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（2025年3月改定）と同時にその基本的な考え方とポイントを解説するものとして、「教育情報セキュリティポリシーハンドブック」も公開。教育委員会及び学校に必要とされるセキュリティ対策は高度化し、その重要度は一層、増している。一方で2024年度時点では教育委員会独自の教育情報セキュリティポリシーを定めている割合は約5割に留まっていることについて文科省は憂慮している。それには理由がある。

教育情報に関するセキュリティポリシーは「基本方針」と「対策基準」「実施手順」で構成されており「基本方針」は地方公共団体として首長部局と共通のもの。しかしこの「基本方針」のみでは、文科省の目指す校務DXの達成が難しい。教育現場には児童生徒が学校のシステムにアクセスして学習活動等を実施する等、首長部局の行政事務とは異なる特徴があるためだ。そこで教育委員会ごとに教育現場ならではの特徴を考慮した運用方法が可能となるよう「対策基準」や「実施手順」を設けた。この策定が5割に留まっていることは、クラウド活用やロケーションフリーの校務の円滑な実施を阻害する可能性がある。

本ハンドブックは、教育委員会独自の教育情報セキュリティポリシー策定が求められる理由を第1章及び2章で解説。第3章では項目ごとに、ガイドラインのポイントと教育現場における教育情報セキュリティポリシー策定のポイントを紐づけて示している。

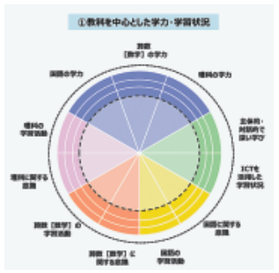
情報セキュリティポリシーの体系



基本方針：教育情報セキュリティポリシーにおいては地方公共団体が策定したものを準用
対策基準：ガイドラインに基づき各教育委員会が策定・見直したもの
実施手順：対策基準に基づき具体的なシステムや手順、手続に展開して個別の実施事項を定めるマニュアル。教育委員会等は各自治体の実態を踏まえた実施手順のひな形を策定し、各学校はひな形に基づき策定・見直しを行う

2025年度学テ中学校理科でCBT

公表スケジュールや結果分析など改善



学力・学習状況と学習習慣、自己有用感等を示したチャートを２種類公表予定

4月17日、全国学力・学習状況調査（PBTによる教科調査）が行われた。また、4月14日〜17日にはMEXCBTを利用しCBT方式により中学校理科（3年に1回実施）及び中学校生徒質問調査も実施。CBT及びIRT調査のメリットを活かした本調査結果の公表について今年度は次のように改善する。

①IRTに基づく結果について生徒には、正答数・率に代えて、問題の難易度等と関連付けた5段階のIRTバンドで表示・返却

②結果返却スケジュールの前倒し（PBTで実施する教科を含む）。児童生徒の学びへの還元を最優先に、学校への結果返却の時期を前倒しし、7月14日に返却を予定。その後、全国データに基づいた分析結果を7月末に、都道府県・指定都市別別データを8月以降に公表する（後述）　③長期欠席児童生徒、特別な教育的支援を必要とする児童生徒、外国人児童生徒等支援を要する児童生徒の調査への参加状況を把握し、支援策の検討・充実につなげる。本データについては実施後アンケートにより把握。

なお8月以降に公表予定である都道府県・指定都市別データは次を予定。▼正答率・IRTスコアの分布を箱ひげ図を用いて提示　▼学力層の分布　▼学力や質問調査結果の状況を散布図により提示　▼都道府県・指定都市別結果チャートを提示。教科を中心とした学力・学習状況と学習習慣、自己有用感等を示したチャートを２種類公表。より細やかに分析

▼これらの結果に基づく文章による説明を都道府県・指定都市別に試行的にまとめる。

調査結果の取扱い検討ワーキンググループでは引き続き検討を実施。2026年度以降もさらに改善・充実する考えだ。

本WGの次回会議は5月。

なお2026年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領は、本年12月に策定予定。

2025年度全国学力・学習状況調査 結果提供・公表スケジュール（案）

7／14文部科学省からの結果公表（第１弾）
- 個人票に掲載される全国値
  【PBT 教科】全国の平均正答率など
  【CBT 教科（中学校理科）】IRT バンドごとの生徒の割合など
- 学校向け結果帳票の提供
- 提供情報は従来と同様。設置管理者にも共有
- 学校は受領後、児童生徒・保護者に返却可

7／22　教育委員会向け結果帳票の提供
- 他の都道府県・指定都市に関する情報は提供しない

7月末　文部科学省からの結果公表（第２弾）
- 全国データに基づく分析　調査結果の分析

8月　都道府県・指定都市別データの作成（学習指導の改善・充実説明会）
- 分布や習熟度に目配りした統計表やグラフ
- 学力や質問調査結果の関係を示す散布図
- 都道府県・指定都市別ノート（試行）の作成

秋　文部科学省からの結果公表（第３弾）
- 都道府県・指定都市別データ

紙面案内

校務ＤＸ・教育ＤＸで学びの質も業務も改善

学習指導要領の検討が始まっている。GIGA 端末とクラウド環境、自由進度学習、学びの多様化――これらを支える教員の業務改善。しかしそもそもの労働人口減がいよいよ深刻になっている。業務改善はもちろんだが、教員のなり手確保に向けた特別優遇策など革新的な一手が求められる

2・5面　EDIX 東京
6　面　高等学校 IT 活用セミナー報告
7　面　教育委員会・学校ニュース
8・9面　学校図書館特集
10-11面　学校施設特集
12　面　【鼎談】NEXT GIGA・次世代校務 DX

■X（旧 Twitter）@kyoikukatei
■紙面問合せ ✉kks@kknews.co.jp
■購読申込みはこちら→

マナビカエル
高校の学びを次の時代へ
様々な事例を紹介しています
先生の話を聴く
授業事例を知る
小国高等学校、沼津東高等学校
大阪ビジネスフロンティア高等学校
笛吹高等学校、静岡中央高等学校
世田谷泉高等学校の事例を公開
3月末、東京都立世田谷泉高等学校、静岡県立沼津東高等学校、山梨県立笛吹高等学校、大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校、静岡県立静岡中央高等学校、山形県立小国高等学校の事例が全国の高校の学びを伝えるポータルサイト「マナビカエル」に公開された。世田谷泉高等学校では不登校経験のある生徒が安心して学ぶことができるように目的を明確にした居場所づくりを行っている。沼津東高等学校では普通科・理数科の混合チームによるスタディツアーを1年生が企画。笛吹高等学校では研究開発学校として1年目から教科横断STEAM型の新教科「笛吹グローカル」を実施。大阪ビジネスフロンティア高等学校は地元に密着したユニークな地域連携で生徒のビジネス感覚を育んでいる。静岡中央高等学校では定時制・通信制共同でダイバーシティ・ハイスクールづくりに着手。小国高等学校では「白い森未来探究学」により生徒の行動力、発信力が向上した。▼詳細＝https://www.mext.go.jp/manabikaeru/

47都道府県で導入実績アリ
Wi-Fi
＼事例はこちら／
FURUNO SYSTEMS

GIGA第２期の個別最適な学び

④学びのＤＸと校務ＤＸの両面からの授業改善　〜石川県能美市立浜小学校〜

１年算数でのＱＲコード読み取り

４年算数での学習計画表

能美市立浜小学校（中野孝子校長）では、学びのDXと校務DXの両面から授業改善に取り組み、児童の資質・能力の育成を進めており、教育DXに係るKPIを設定して、それらを達成して持続的できるように取り組んでいる。

例えば、学びのDXでは、低学年から教科書のQRコードを情報端末で読み取り、コンテンツを活用した個別学習を進めている。さらに、学習計画表や探究シートを活用して複線型学習を進めている。このように、学びのDXでは、全学年が情報端末を学習ツールとして活用できる場面を設定して、主体的な学びを進めるように積極的に支援している。

校務DXでは、職員会議や行事予定、出席管理、校内研や学校評価といった広範囲の校務の情報化を推進。これにより校務の効率化を進めることができ、教師は授業改善に取り組む時間の確保と心のゆとりにつながっている。

令和の日本型学校教育を進めるには、教師が教材や学習材を工夫して、子供たちに学びを委ねる必要がある。そのためには、ICTを学習ツールの1つとして活用できるように支援するだけでなく、学びのDXと校務の効率化を1セットで進め、教師の働き方改革にもつなげていくことが求められている。

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

FORTINET
第一回：教育DXブレークスルーセミナー
教育DX推進のための学校現場の課題に切り込み、解決の道を見出す。
会　期　2025年4月23日(水)
セミナー：14:00〜17:50(受付開始13:30)
情報交流会：17:50〜19:00
形　式　ハイブリッド開催
共　催　教育家庭新聞社・フォーティネットジャパン合同会社
会　場　有明セントラルタワーホール&カンファレンス EDIX東京2025(東京ビッグサイト)に隣接
参加費　無料事前登録制（会場はお席に限りがあるため、先着順とさせていただきます。）
対　象　教育委員会、学校関係者(公立・私立)、自治体職員、議員、省庁関係者
お申込みはこちら
※フォーティネットジャパンは、EDIX東京2025に出展します。
ブース番号 26-38

塩野米松のいのちわくわくおはなし絵本
わく
塩野米松 文／村上康成 絵
この星では、いのちは湧くもの。水たまりや海、夕空からも、いのちのつぶやきが聴こえてくる。わくわく わくわく。
●1650円(幼児・小学初級〜)
既刊 各1650円
ワニくんがやってきた!
塩野米松 原案／飯野和好 翻案・絵
くじらのいるこみち
塩野米松 文／はたこうしろう 絵
イチからつくる ピザ
小田原学 編／坂之上正久 絵
ピザはどこから伝わった?ルーツを探るとイタリアのナポリに。小麦やオリーブ、トマトを育てチーズもつくり自分でピザを焼こう。(小学中級〜)
●2750円
農文協 〒335-0022埼玉県戸田市上戸田2-2-2
☎048-233-9351 FAX048-299-2812
https://shop.ruralnet.or.jp/（価格税込）

移動する民 ―ノマドのくらし
キンチョイ・ラム 作
八木橋伸浩 日本語版監修
くまがいじゅんこ 訳
定住地をもたず移動しながら生活する民、ノマド。極北のシベリア、サハラ砂漠、東南アジアの海など、さまざまな環境で伝統的なくらしをつづける7つのノマド社会を、美しい絵とともに紹介します。よけいなものをもたず、環境に調和したくらしを営む生活スタイルには、持続可能な社会を目指すためのヒントがつまっています。
A4変型判上製・72頁　定価3740円（税込）
玉川大学出版部
〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1
TEL 042-739-8935　FAX 042-739-8940
www.tamagawa-up.jp　〈価格税込〉

《なるにはBOOKS》教科と仕事【新刊】
社会の時間【新版】
―学校の学びを社会で活かせ!―
松井大助著　学校で学ぶ教科の「知識」や「見方・考え方」が、仕事で「どう役立っているのか」をさまざまな分野で活躍する職業人に聞く〈新ラインナップ〉第5弾!
◉四六判並製／1870円
ぺりかん社　税込価格
113-0033 東京都文京区本郷1−28−36
☎03-3814-8515 http://www.perikansha.co.jp/

◆ミネルヴァ・ジュニア評伝選◆
＊四六判美装カバー／各1980円
小学校高学年から読める新シリーズ、5月刊行開始!
① 安藤百福 インスタント麺が人類に与えたこと
永野淳太郎著　96年の生涯を「食をつくりて世のために尽くした、チキンラーメンを生んだ発明家・実業家のドラマティックで波乱に満ちた人生。
② 杉原千畝 人道第一の決断から学ぶこと
伊藤千尋著　政府の命令に背いて、ナチの迫害から逃れるために助けを求めるユダヤ人にビザを発給し命を救った外交官・杉原千畝の実像に迫る。
ミネルヴァ書房
京都市山科区日ノ岡堤谷町1☎075-581-0296
税込／ https://www.minervashobo.co.jp/

重版出来
好評発売中!!
やさしい日本語 3文トレーニング
ハサミの法則で伝える・伝わる説明の技術
吉開 章
A5 判／並製／ 144 頁
定価：本体 1200 円＋税
学校やインバウンドなど活用の場が広がっています!
すぐに使えるテクニックが満載!
はっきり・さいごまで・みじかく言う「ハサミの法則」で、誰にでも伝わるコミュニケーションを目指す、実践的なトレーニング本です!
駒草出版　港区芝浦 3-17-12 吾妻ビル 5F
https://www.komakusa-pub.jp/
TEL 03-6435-3250
お近くの書店にてご注文頂けます

47都道府県 ご当地文化百科
地域の個性が再発見できる ご当地本 好評発売中!
《全47巻》
丸善出版 編　各176〜264頁　四六判・各巻定価2,970円（税込）
歴史・食・営み・風景の分野別に、名産品や食文化、伝統行事や各地の伝承など、各都道府県ごとに地域色豊かな話題について興味深く解説。◆学校の探求学習の資料にも最適◆
丸善出版
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17
https://www.maruzen-publishing.co.jp

溪水社
児童生徒の学校適応感がUPする PBAODによる道徳プログラム実践集
SSTと道徳、学級活動の3ステップを学級経営のカギとなる4月と9月に実施するシンプルなプログラム「PBAOD（ピーバオッド）で一体感のある明るい学級に！理論と方法を分かりやすく、取り入れやすく解説。
森川敦子編　2750円【最新刊】オンデマンド（ネット書店限定販売）
研究授業の単元も作れるようになる！ 年間指導計画作り
道徳のカリキュラム・マネジメントを実現する評価をふまえた年間指導計画の作成法を解説。著者提案の「ストーリー配列法」で児童生徒の実態に即した単元作りを。
中野真悟著　1650円
【価格は税込】http://www.keisui.co.jp
（〒730−0041）広島市中区小町1−4
TEL(082)246-7909　FAX246-7876

非認知能力の発達
―生涯にわたる変化と影響―
小塩真司 編著
A5判・336頁・定価2970円
様々な人間関係やライフイベント，心理特性相互の関連性の影響のもと，人生全体にわたり変化するものとして非認知能力を捉える。
大豆生田啓友対談集 保育から世界が変わる
大豆生田啓友 著　木村明子 聞き手
A5判・240頁・定価2200円
子どもたちの未来のために，保育・幼児教育の枠を超えて，多様な領域研究者たちと「子どもを真ん中に置いて」語り合う。
北大路書房
〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8
TEL 075-431-0361 FAX 075-431-9393
https://www.kitaohji.com　〈価格税込〉